

**製品名: SSTR2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18308**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	40kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SSTR2
別名	Somatostatin receptor type 2 (SS-2-R) (SS2-R) (SS2R) (SRIF-1)
遺伝子 ID	6752.0
SwissProt ID	P30874
免疫原	抗血清はヒト SSTR2 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 220-270

**背景**

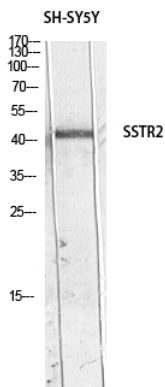
ソマトスタチンは多くの部位で作用し、多くのホルモンやその他の分泌タンパク質の放出を阻害します。ソマトスタチンの生物学的

効果は、組織特異的に発現する G タンパク質共役受容体ファミリーを介していると考えられます。SSTR2 は、7 つの膜貫通セグメントを持つ受容体スーパーファミリーのメンバーであり、脳と腎臓で最も多く発現しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: ソマトスタチン 14 および 28 の受容体。この受容体は、百日咳毒素感受性 G タンパク質を介してアデニル酸シクラーゼ阻害に結合します。さらに、百日咳毒素感受性 G タンパク質だけでなく、非感受性 G タンパク質を介してホスホチロシンホスファターゼおよび PLC を刺激します。RIN-5F 細胞において、この受容体は電位依存性カルシウムチャンネルを抑制することでカルシウム流入を阻害する。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。サブユニット: C 末端は SHANK1 の PDZ ドメインと相互作用する。組織特異性: 脳および腎臓。空腸、結腸、肝臓にも少量存在する。、

## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



SSTR2 抗体を用いた SH-SY5Y の溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈した。二次抗体は 1:20000 に希釈した。